

【基本方針】

今日の社会福祉を取り巻く状況は、本格的な人口減少社会に突入し、少子高齢化の進行、高齢者単身・夫婦のみ世帯の増加や家族形態の多様化等は当町においても例外なく、町民の生き方や暮らし方の変化に厳しい経済状況も加わり、生活への不安も深刻化してきています。

こうした背景を踏まえ、本会では、町内における住民主導による地域福祉力向上を目指し、平成25年度に、ふれあい・知りあい・助け合いの輪を広げ「栄町のしあわせ文化を創ろう！」を基本理念とする「第2次地域福祉活動計画（平成26年度～平成30年度）」を策定しました。

そして、本年度は、本活動計画の2年目を迎えます。

本年度は、地域の課題や町民の困りごとにしっかりと向き合って対処していくための相談事業の充実と、地域の困りごとを解決するために活動いただく人材育成を推進してまいります。また、高齢者等の外出機会を増やすと共に、多世代間の交流促進を一層推進するため、地域におけるサロン活動等に対する計画的且つ効果的なサポートを行いながら「顔の見える関係づくり」を地域に広げていきます。

なお、本計画の実施主体は町民であり、本会は、地域の皆さんが、地域を支える一員として、無理なく「近所（共助）」の活動ができるよう、地域住民、民生、児童委員、ボランティア及び福祉サービスを提供する事業者など、地域の各種団体や組織の相互理解と協働の推進を図りながら、現行事業の拡充、新規事業の研究等、本計画が画餅に帰すことのないよう、確実に計画推進を図ってまいります。

【重点目標】

基本目標Ⅰ：地域の見守り・支え合い活動を充実させます

地域のグループや地域組織が、高齢者や障がい者・子育て世代など、さまざまな社会的孤立の防止や、顔の見える関係づくりのために、見守り活動やサロン活動を拡充するとともに、福祉活動の担い手づくりを推進します。

【主な事業】

- 初級ボランティア講座の開催【新規】
- ボランティア備品貸出事業【新規】
- 福祉団体活動助成金の交付
- 友愛訪問事業の検討

基本目標Ⅱ 情報や困りごとを分かち合える環境づくりを進めます

地域のつながりが希薄化する中、社会的孤立や経済的困窮など、深刻化する福祉課題の解決を図るため、相談事業を強化します。また、住民の見守りや支援だけでは対応が難しい人々には、地域に出向き継続的な訪問や計画的な支援を行います。

【主な事業】

- 専門相談事業の開催【新規】
- 終活事業の開催【新規】
- 日常生活自立支援の周知と活用促進
- 生活困窮者への生活福祉資金等貸付
- 広報紙の発行・ホームページによる情報の発信

基本目標Ⅲ 福祉の心を育み、広げていきます

子どもたちのボランティア活動のきっかけづくりと、高齢者や障がい者の思いやる心を育み育てるために、町教育委員会や小・中学校と連携した福祉教育に取り組めます。

【主な事業】

- ボランティアパスポート事業の参加推進
- 福祉団体助成金事業の福祉教育部門のあり方を検討
- 認知症サポーター養成講座（認知症キャラバンメイト当会職員 2 名・ボランティア 1 名の活用）と高齢者疑似体験の組み合わせ事業の推進（拡充）

基本目標Ⅳ 災害時に地域で支える環境づくりを進めます

有事の際に、当会職員及びボランティアによる支援活動を効果的・効率的に展開するために、栄町災害ボランティアセンターを円滑に立ち上げられるよう関係団体の連携強化や、栄町災害ボランティアセンターの運営スタッフを育成します。

【主な事業】

- 災害ボランティア研修会の開催【新規】
- 災害ボランティアスタッフ養成研修会等への参加支援
- 地区別防災訓練で災害ボランティアセンターの役割説明